ソフトウェア開発演習

14M38333

南川富

- 作品名•••回転迷路
- 何をするアプリケーションなのか? 回転センサを用いて、
 - Android本体を回して玉を転がす。
 - ゴールを目指して迷路を進むゲーム。

- ・実装に用いた技術
 - ・回転センサ(玉にかかる重力の向き)
 - ・加速度センサ(重力)
 - ・その他Androidの基礎

このアプリはどんな役に立つの? たとえば、回転センサは 地図やコンパスといったものに 応用が可能と言えます。

 このアプリはどんな役に立つの?
また、加速度センサを用いた重力判定は、 ゲーム作成などにおいて
仮想的な世界を作る際に欠かせない
技術とも言えます。

このアプリはどんな役に立つの?
これらのような作品を作る際の
足掛けとして、このアプリは
有効であると言えます。

昔なつかしのアレ、 レバーだとなにかと不便で 「本体ごと回しちまえ!」 と思ったこともあると 思います。

僕はやっておっさんにすごく怒られました

- 現実だと本体を回して景品を取ると 店員さんに間違いなく怒られる。
 - →このアプリを応用して、

本体を回すゲームを作るなど、

現実じゃ不可能だった遊び方も

可能です。(おまけのガムは出ませんが・・・)

苦労した点

- ・回転センサの実装
- ・ 障害物の判定
- ・ 玉の自由落下
- .JAVAと.xmlの両方で描画を行った際に 上書きで描画してしまったために、 ここで大きく時間を取られた。

スライドは以上となります。